

今月の
トピックス

JCOG2510肺がん内科グループ 新規試験

JCOG肺がん内科グループの新しい試験であるJCOG2510「切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する同時化学放射線療法+デュルバルマブ地固め療法と、導入複合免疫療法後の同時化学放射線療法+デュルバルマブ地固め療法のランダム化比較第III相試験(PRIME-CRT)」が現在開始に向けて準備が進められています。本試験の立案およびプロトコル作成にあたり、JCOG肺がん内科グループの先生方やJCOGデータセンター・運営事務局の皆様、各審査委員会をはじめとする多くの皆様より多大なるご指導とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

本試験では、切除不能な局所進行非小細胞肺癌を対象として、プラチナ併用化学療法+免疫チェックポイント阻害剤(ICI)による導入複合免疫療法後の同時化学放射線療法(chemoradiotherapy; CRT)+デュルバルマブ地固め療法が、標準治療である同時CRT+デュルバルマブ地固め療法と比較して、無増悪生存期間および全生存期間において上回ることをご検証します。

切除不能な局所進行非小細胞肺癌に対する標準治療は、根治的な放射線治療を軸として治療が開発されてきました。最適な放射線治療に関する検討の結果、化学療法と放射線治療を組み合わせた同時CRTの治療成績が良好であり、広く行われてきました。近年、同時CRT後に病状が安定している患者を対象に、ICIの一つであるデュルバルマブによる地固め療法とプラセボを比較したPACIFIC試験の結果に基づき、同対象に対するデュルバルマブ地固め療法が世界的な標準治療となりました。

切除不能な局所進行非小細胞肺癌

PS0-1、18歳以上、根治的放射線治療可能
EGFR遺伝子変異陰性、ALK/ROS1/RET融合遺伝子陰性または不明

ランダム割付

施設、年齢、病期、PD-L1

A群：標準治療群

同時化学放射線療法
+デュルバルマブ地固め療法
75歳未満 CBDCA+PTX+胸部放射線
75歳以上 CBDCA+胸部放射線

B群：試験治療群

導入複合免疫療法
非扁平上皮癌
CBDCA+PEM+ペムブロリズマブ
扁平上皮癌
CBDCA+nab-PTX+ペムブロリズマブ

同時化学放射線療法 +デュルバルマブ地固め療法

75歳未満 CBDCA+PTX+胸部放射線
75歳以上 CBDCA+胸部放射線



研究代表者
鈎持 広知



研究事務局
増田 健



放射線治療研究事務局
大熊 加恵



放射線治療研究事務局
原田 英幸

標準治療は同時CRT+デュルバルマブ地固め療法であるものの、治療成績は十分とは言えず、より有効性の高い治療戦略が求められています。

最近、腫瘍細胞の存在する状況でICIを投与することにより、癌免疫サイクルをより活性化することが複数の基礎研究で報告されました。基礎研究結果を裏付けるように、切除可能な非小細胞肺癌では、腫瘍細胞が存在する手術前にプラチナ併用化学療法+ICIを行うことで手術成績が向上しました。切除不能な局所進行非小細胞肺癌も同様に、同時CRTの前に導入複合免疫療法を行うことで癌免疫サイクルをより活性化し、より高い有効性が期待できると考えたため、本試験を計画しました。

本試験の結果、導入複合免疫療法の有用性が明らかになった場合、より多くの患者さんが恩恵を受けることができます。

JCOG2510(PRIME-CRT)試験は、切除不能な局所進行非小細胞肺癌に対する同時CRTの前に複合免疫療法を行うことで、治療効果を改善させるか否かを検証する試験です。本試験は212人の患者さんのご協力をいただき、進めていく予定です。

試験の完遂には、患者さんのご協力に加え、参加施設の皆様のお力が必要不可欠です。JCOG2510試験へのご理解とご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

JCOG2510研究代表者 静岡県立静岡がんセンター 鈎持 広知

JCOG2510研究事務局 久留米大学医学部 増田 健

JCOG2510放射線治療研究事務局

国立がん研究センター中央病院 大熊 加恵

静岡県立静岡がんセンター 原田 英幸

JCOG研究の論文公表

頭頸部がんグループ JCOG1008 田原 信 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/42361282/>

Long-Term Follow-Up of JCOG1008, a Randomized Phase II/III Trial of Chemoradiotherapy Comparing 3-Weekly Cisplatin With Weekly Cisplatin in Postoperative Head and Neck Cancer, Journal of Clinical Oncology, 2026 Jun 26. Online ahead of print.

泌尿器科腫瘍グループ JCOG0401A1 加藤 真史 先生

<https://www.mdpi.com/2072-6694/18/12/1868>

Pathological Predictors of Limited Salvage Radiotherapy Efficacy After Radical Prostatectomy: Central Review of JCOG0401, Cancers, 2026 Jun 8. Online ahead of print.

JCOG研究に関わる研究結果やイベント情報など最新情報を発信しますので、ぜひフォローしてくださいね！

X ユーザーネーム: @JCOG_official URL: https://x.com/JCOG_official/

Facebook ページ URL: https://www.facebook.com/JCOG_official

JCOGウェブサイトのトップページからも関連ページへアクセスいただけます。

腎臓にできる小さな腫瘍は、健康診断や他の病気の検査で偶然見つかることが増えています。

特に、腫瘍の大きさが3 cm未満と小さい場合には、すぐに大きくならないものや、進行がゆっくりな腫瘍も少なくありません。一方で、現在の標準的な治療は、腫瘍を早い段階で手術などにより治療する「即時治療介入」です。手術は治療効果が確立された重要な選択肢ですが、高齢の患者さんにとっては、入院や手術に伴う体への負担、合併症、腎機能低下などが問題となることがあります。

そこで注目されているのが、「積極的経過観察」という方法です。これは、治療をしないまま放置するという意味ではありません。定期的にCTなどの画像検査を行い、腫瘍の大きさや形の変化を慎重に確認しながら、必要になった時点で手術、アブレーション、放射線治療などを検討する方法です。

JCOG2409試験では、75歳以上で、手術などの治療に耐えられと判断される、3 cm未満の腎腫瘍をもつ患者さんを対象に、「すぐに治療を行う方法」と「積極的経過観察を行う方法」を比較します。

この試験の大きな特徴は、患者さんと担当医が十分に相談したうえで治療方針を選択する点です。コンピュータなどで無作為に治療法を割り付ける試験ではなく、それぞれの患者さんの体の状態、併存する病気、生活背景、価値観を踏まえて、A群「即時治療介入」またはB群「積極的経過観察」を選びます。そのため、両群を単純に比べただけでは背景の違いが影響する可能性があります。解析では年齢、体の状態、併存疾患、腎機能、腫瘍の特徴などを考慮し、できる限り公平な比較を行います。

JCOG2409試験の目的は、75歳以上の小さな腎腫瘍をもつ患者さんにとって、積極的経過観察が、すぐに治療する方法と比べて生存期間の面で劣らないかを明らかにすることです。もし積極的経過観察の安全性と有用性が示されれば、将来、治療による負担を避けながら、その人らしい生活を保つための重要な選択肢となる可能性があります。一方で、すぐに治療すべき患者さんを見極めるための知見も得られることが期待されます。



研究代表者
北村寛



研究事務局
小島崇宏



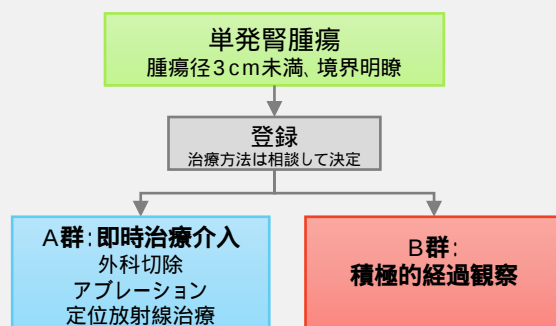
研究事務局
大澤崇宏



試料解析事務局
沼倉一幸

高齢化が進む日本において、がんを「治す」ことだけでなく、患者さんの体への負担や生活の質を大切にしながら治療を選ぶことは、ますます重要になっています。JCOG2409試験は、小さな腎腫瘍をもつ高齢の患者さんに、より納得できる治療選択を届けるための臨床試験です。

JCOG2409研究代表者	富山大学	北村寛
JCOG2409研究事務局	愛知県がんセンター 新潟大学	小島崇宏 大澤崇宏
試料解析研究事務局	旭川医科大学	沼倉 一幸



JCOG研究の論文公表

胃がんグループ JCOG1704 黒川 幸典 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/42268543/>

Preoperative chemotherapy with docetaxel, oxaliplatin, and S-1 for gastric cancer with extensive lymph node metastasis: 3-year follow-up results from JCOG1704, Gastric Cancer, 2026 Jun 10. Online ahead of print.

消化器内視鏡グループ JCOG1217 田中 雅樹 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/42313516/>

A Randomized Controlled Phase 3 Trial of Oral Prednisolone Administration Versus Local Triamcinolone Injection Therapy for Esophageal Stricture Prevention After Extensive Endoscopic Submucosal Dissection (JCOG1217), Digestive Endoscopy, 2026 Jun.

乳がんグループ JCOG1017S1 石飛 真人 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/42142363/>

Primary tumour resection reduces the risk of major local morbidity in de novo stage IV breast cancer: secondary data analysis from the JCOG1017 randomized clinical trial, British Journal of Surgery, 2026 May 7.

肺がん外科グループ JCOG 1211S1 小野寺 賢先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/42341065/>

Oncologic Safety of Omitting Mediastinal Lymph Node Dissection in Segmentectomy for Ground-Glass Opacity-Dominant Lung Cancer: A Supplementary Analysis of JCOG1211, European Journal of Cardio-Thoracic Surgery, 2026 Jun 24.

JCOG研究の論文公表



脳腫瘍グループ JCOG2314デザインペーパー 川端 浩太 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/42315131/>

A multicenter randomized phase II/III trial of salvage treatment for refractory primary central nervous system lymphoma using tirabrutinib: JCOG2314 (ReSTART), Japanese Journal of Clinical Oncology, 2026 Jun 18. Online ahead of print.

頭頸部がん/放射線グループ JCOG2405デザインペーパー 川端 浩太 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/42341154/>

A multicenter randomized phase III trial of weekly cisplatin chemoradiotherapy versus radiotherapy in elderly patients with head and neck squamous cell carcinoma unfit for high-dose cisplatin: JCOG2405 (ELDER-WEEKLY), Japanese Journal of Clinical Oncology, 2026 Jun 24. Online ahead of print.

肺がん外科グループ JCOG 2317デザインペーパー

三留 典子先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/42107198/>

A Multi-Institutional Randomized Phase III Trial of Neoadjuvant Chemoimmunotherapy Followed By Surgery Versus Upfront Surgery in Patients With Resectable Clinical Stage II-III Non-Small Cell Lung Cancer: JCOG2317 (NATCH-ICI), AURA Trial, Clinical Lung Cancer, 2026 Apr 13. Online ahead of print.

担当医別月間登録数



肺がん内科グループ(月間登録数:3)

國政 啓先生 / 大阪国際がんセンター

肺がん外科グループ(月間登録数:3)

坪川典史先生 / 広島大学病院

食道がんグループ(月間登録数:2)

野村基雄先生 / 京都大学医学部附属病院

下山勇人先生 / 虎の門病院

豊川貴弘先生 / 大阪公立大学医学部附属病院

乳がんグループ(月間登録数:2)

秋田由美子先生 / 愛知県がんセンター

リンパ腫グループ(月間登録数:3)

牧山純也先生 / 佐世保市総合医療センター

大腸がんグループ(月間登録数:2)

三口真司先生 / 県立広島病院

泌尿器科腫瘍グループ(月間登録数:2)

橋根勝義先生 / 国立病院機構四国がんセンター

放射線治療グループ(月間登録数:2)

伊藤 慶先生 / がん・感染症センター都立駒込病院

脳腫瘍グループ(月間登録数:2)

高田茂樹先生 / 京都大学医学部附属病院

肝胆膵グループ(月間登録数:3)

中村育夫先生 / 兵庫医科大学

頭頸部がんグループ(月間登録数:2)

小山泰司先生 / 神戸大学医学部

(担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

国立がん研究センター FUTUREプロジェクト

「満たされない患者ニーズを解決するための内科系研究プロジェクト」
皆さまからのあたたかいご支援が、多くの患者さんの「FUTURE(未来)」につながります。

https://www.ncc.go.jp/jp/d004/donation/future_project/index.html

グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	4月	5月	6月	合計
肺がん外科	60	57	61	178
肝胆膵	23	18	26	67
リンパ腫	23	18	25	66
食道がん	26	15	23	64
大腸がん	16	22	21	59
乳がん	16	12	14	42
胃がん	8	11	21	40
肺がん内科	9	9	14	32
放射線治療	9	3	10	22
脳腫瘍	5	7	6	18
消化器内視鏡	7	5	3	15
泌尿器科腫瘍	5	4	6	15
骨軟部腫瘍	1	7	4	12
頭頸部がん	0	3	4	7
皮膚腫瘍	1	1	0	2
婦人科腫瘍	0	0	0	0
合計	209	192	238	639

JCOG
Japan Clinical Oncology Group

JCOGデータセンターより

● 2026年6月の登録は238例でした

